

令和 2 年 2 月 5 日

甲斐市長 保 坂 武 様

甲斐市総合計画審議会
会長 波木井 昇



第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画（案）について（答申）

令和元年 11 月 21 日付け甲斐秘第 11-65 号において、本審議会に諮問のありました第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画（案）について、次のとおり答申いたします。

答申

本審議会は、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間を計画期間とする「第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画（案）」の諮問を受け、慎重に審議をいたしました。

「第 2 次甲斐市総合計画後期基本計画（案）」の策定にあたっては、甲斐市まちづくり基本条例で定める市民参加を推進するため、市民、民間企業・各種団体の意向を把握するためのアンケート調査やヒアリング、市民ワークショップ、タウンミーティング、パブリックコメントが実施され、また、添付の本案は本審議会での意見を踏まえたものとなっており、本案を妥当なものとして認めます。

なお、計画推進にあたっては、各分野の関係者の意見、提言を十分に尊重し、適切かつ効果的に施策を着実に遂行することを要望し、計画の実施にあたっては、次の点に配慮されるよう申し添えます。

- 1 甲斐市においては、今後、進展が予想される人口減少や少子高齢化、社会・経済のグローバル化、自然環境の保全、多様な人々が活躍する社会づくりなどの様々な課題に直面しています。

これらの課題解決に向け、基本構想における社会の潮流を踏まえ、市民との協働によるまちづくりをより一層進めるとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に基づいた市政運営を展開し、計画を推進することを要望します。

- 2 新たに策定した、第 2 次創甲斐教育推進大綱との整合性を図る中で、「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」を目指し、家庭・地域社会・学校が一体となり教育行政に取り組むことを要望します。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、スポーツに関する取組が注目されてきています。競技としてのスポーツだけでなく、スポーツを身近な生活の中に取り入れ、子どもからお年寄り、障がい者も生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに努めてください。



- 3 少子高齢化の進展に伴い、子育て支援や高齢者福祉への市民ニーズが多様化しています。甲斐市においては近年、合計特殊出生率に若干の改善傾向がみられますが、今後は地域全体での福祉への取組や子育てへの対応が求められます。

甲斐市版ネウボラ推進プロジェクトを引き続き推進し、切れ目のない子ども・子育て支援に取り組むとともに、地域の実情に応じた助け合いの取組を展開し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域共生社会の実現に努めてください。

- 4 甲斐市は豊かな自然環境を有し、市街地にも緑豊かな公園が点在することで、自然を身近に感じることができます。また、病院、スーパーなども多く、生活の利便性は高いといえます。今後は、中部横断自動車道、リニア中央新幹線や新山梨環状道路（北部区間）、都市計画道路田富町敷島線の整備、開通により新たな人やものの流れができるとともに、文化芸術、交流の拠点として「(仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム」が整備され、ますますの発展が期待されます。

市の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現と市民が誇りと愛着をもてる魅力的なまちづくりを要望します。

- 5 甲斐市の自然環境は貴重な資源であり、限られた資源やエネルギーを有効活用しながら保全していく必要があります。

持続可能なまちづくりを推進するため、市民への環境に対する意識の高揚に努めるとともに、バイオマス産業都市構想の実現に向け取り組むことを要望します。

- 6 時代の変化とともに市民ニーズや行政課題が多様化する中で、適切かつ迅速に対応していくためには地域の課題を互いに理解し、協働により、一体となって取り組んでいく必要があります。

市政運営にあたっては、甲斐市まちづくり基本条例に基づき、市民との情報共有に努め、市民参画の開かれた市政を一層推進するよう要望します。

- 7 少子高齢化のさらなる進行、地域経済の低迷など多くの課題を抱える中で、「地方創生」を推進するにあたっては地域の実情に合った独自のまちづくりが求められています。

本計画を「第2期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に策定することで、より効果が高く実践的な計画となることを期待しています。計画の実践にあたっては、両計画の整合性を保ち、甲斐市らしい特色ある地域づくりに努めてください。